

【12月6日（土）】

展示会最終日です。今日の夜には日本に向けて出国する日です。そんな日ですが、体調はすっかりジャカルタ時間に慣れてしまいました。現地時間で6時過ぎに起床できました。

インドネシアの会社は基本的に週休2日なので、土曜が休みの会社は多いようです。なので、展示会の客足は鈍いものと思っていました。然しながら、いざ展示会が始まれば、朝から沢山の人が来場されました。平日来られない方が来場されていたようです。平日は名刺交換をすると管理職の方が多かったようですが、現場の職人の方が多い印象でした。休日に展示会に来場される方は仕事熱心な方々です。

機械装置に対する質問が多かったのは、消費電力の質問でした。日本と比べて電気料金は相当高いようで、消費電力には普段から気を使っているようでした。コストに対する意識が高いのかな？とも思いましたが、「機械の導入により、人員を何人削減できます」といったセールス話法を使っても、「人は沢山いるから機械化する必要ない」との回答が来ます。意識を向けている方向が違うように感じました。固定費削減のために、人員を削減して機械化を進める発想は今のところ無いようでした。

最終日の展示会は通常よりも1時間早く5時に終了するので、4時頃から撤収作業に取り掛かりました。撤収も無事に終了し、空港に向かうことにしました。本日も、午後から雨が降り、タクシー乗り場には人が沢山いました。展示会の最終日ももちろんチャーターしていたバスで空港へ向かいました。展示会場から空港まではあまり混雑するところは通らないので、順調に流れていました。

空港近くのレストランに寄り、ゆっくりと昼食をとりました。出展者の方々も展示会の疲れを癒すかのように、のんびりと食事を取られていました。ビュッフェ形式なので、好みの食事が取れました。インドネシア料理のデザートで「クエ・ラピス」というお菓子が美味しかったです。「ういろう」のような食感で非常に美味しかったです。お土産に買って帰りたいくらいでしたが、残念ながら売っていませんでした。

帰りの飛行機は夜11時55分なので、時間は充分ありますが、疲れもありましたので、取りあえず空港で休むことにしました。

チケットカウンターに向かったもののガルーダでは珍しく？長い列ができていました。なんのことは無い発券に時間が掛かっているだけのようでした。少しイライラしながら並んでいて15分後くらいにようやく私の番がきました。

カウンターでは、開口一番、ビジネスクラスに変更するが良いか？との問いかけでした。良いも悪いも無いので、即答でOKしました。どうやら発券に時間が掛かっていたのは、その変更手続きだったようです。一つ気になったのが、カウンターの男性がビジネスクラスにただで変更できていいねえと言った後に、「I give you business class」とおっしゃっていました。「We give you」と言われれば「有難うございます」と素直に答えられるのに、会社の都合で変更したにもかかわらず、「俺が」みたいな言われ方をして少し腑に落ちない

状況になってしまいました。が、そこは大人の対応、満面の笑で「サンキュー」とだけ、返答しておきました。

飛行機の待合室では、オレンジ色のお揃いのカバンを持った団体客が大勢いました。お陰様でビジネスクラスに乗れました。と、感謝しつつあまりにも薄着なので、成田についてからの事を心配してしまいました。

飛行機の中では疲れ果てていたのも、ドリンク等も飲まずに熟睡して帰国することが出来ました。

無事に帰国を果たすことができました。初めての海外展示会、皆様お疲れ様でした。肌でインドネシアを感じる事が出来たと思います。